



(本誌はホームページでもご覧いただけます。)

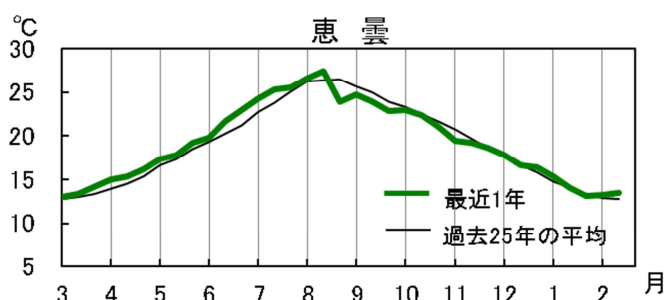
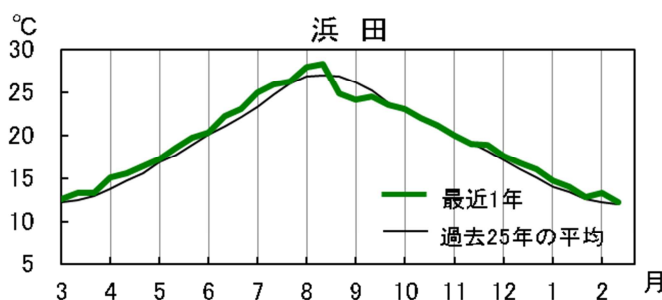
<http://www.pref.shimane.lg.jp/suigi/>

(TEL 0855-22-1720)

## 《1~2月の海況》

1月	月平均	平年差	評価
浜田	13.9℃	+0.6℃	やや高め
恵曇	16.6℃	-0.2℃	平年並み

沿岸定地水温は、浜田地区では、1月上・中旬は「やや高め」、下旬は「平年並み」となり、2月に入り中旬時点で「やや高め」で経過しています。恵曇地区では、1月上旬は「やや高め」、中・下旬は「平年並み」となり2月に入り中旬時点で「平年並み」で経過しています。



## 《1月の漁況》

## 【中型まき網漁業】

浜田地区ではサバ類、マアジ、サワラ類主体の漁況で、1統1航海当たりの漁獲量は36.1トンで平年並みとなりました。魚種別の動向(総漁獲量)は、サバ類、マアジ、サワラ類がそれぞれ136トン、45トン、25トンで平年並みとなりました。隠岐地区ではサバ類、マイワシ類主体の漁況で、1統1航海当たりの漁獲量は89.9トンで平年を上回りました。魚種別の動向(総漁獲量)は、サバ類は3,908トンで平年の1.8倍、マイワシは1,126トンで平年の80倍となりました。

## 【イカ釣漁業】

浜田地区(属地5トン以上)では例年漁獲の主体となるスルメイカが不漁で、1隻1航海当たりの漁獲量は14kgで平年を大きく下回りました。一方、西郷地区(属人5トン以上)では例年漁獲の主体となるスルメイカが不漁で、1隻1航海当たりの漁獲量は39kgで平年を大きく下回りました。

## 【沖合底びき網漁業】

浜田地区ではアカムツ、アンコウ、キダイを主体に、1統1航海当たりの漁獲量は10.2トンで平年を下回りました。魚種別の動向(総漁獲量)は、アカムツは平年の2.8倍、アンコウは平年並み、キダイは平年1.2倍の水揚げでした。その他、ソウハチは平年の5割、ムシガレイは平年の8割、スルメイカは平年の4割の水揚げに留まった一方、マアジは平年の4倍、ヤリイカは平年の1.2倍の水揚げでした。

## 【小型底びき網漁業】

大田地区(和江・久手)ではアカガレイ、ソウハチが主体の漁況で、1統1航海当たりの漁獲量は932kgで平年の1.3倍の水揚げとなりました。魚種別の動向(総漁獲量)は、アカガレイが平年の3.5倍と豊漁で総漁獲量の3割を占めました。一方でソウハチは平年の7割の水揚げに留まりました。その他の魚種ではヒレグロが平年の9割、キダイが平年の1.8倍、マトウダイが平年の1.3倍、アンコウが平年の4割でした。

## 【定置網漁業】

出雲地区ではサワラ類、スズキ、ブリ主体の漁況で、1統当たりの漁獲量は12.9トンで平年を下回りました。魚種別の動向(総漁獲量)は、サワラ類は平年の2.0倍、スズキは平年の2.4倍、ブリは平年の3割の漁獲量でした。石見地区ではサバ類、スズキ、サワラ類主体の漁況で、1統当たりの漁獲量は7.0トンで平年並みでした。魚種別の動向(総漁獲量)は、サバ類は平年の9割、スズキは平年の2.2倍、サワラ類は平年の6.1倍の漁獲量でした。隠岐地区ではウルメイワシ、マアジ、スルメイカ主体の漁況で、1統当たりの漁獲量は7.1トンで平年を下回りました。魚種別の動向(総漁獲量)は、これまで1月に見られなかったウルメイワシの漁獲がありましたが、マアジは平年の8割、スルメイカは平年の1割未満の漁獲量でした。

## 【釣・縄】

出雲地区ではブリ、サワラ類が主に漁獲され、1隻1航海当たりの漁獲量は79kgで平年を上回りました。石見地区ではサワラ類、ブリが主に漁獲され、1隻1航海当たりの漁獲量は24kgで平年を下回りました。隠岐地区ではブリ、メダイ、カサゴ・メバル類が主に漁獲され、1隻1航海当たりの漁獲量は27kgで平年並みでした。

【平成 29 年 1 月の漁獲統計】

漁業種類	地区	主要魚種	総漁獲量			CPUE(1 隻(統)1 航海当り漁獲量)			漁模様
			漁獲量	前年比 %	平年比 %	漁獲量	前年比 %	平年比 %	
中型まき網	浜田	サバ類、マアジ、サワラ類	217トン	68%	75%	36.1トン	79%	119%	○
	隠岐	サバ類、マイワシ	6,202トン	281%	140%	89.9トン	297%	172%	◎
イカ釣り (5トン以上)	浜田	ケンサキイカ、スルメイカ、ヤリイカ	42kg	0.1%	0.07%	14kg	2%	1%	▲
	西郷	スルメイカ	78kg	6%	1%	39kg	33%	31%	▲
沖合 底びき網	浜田	アカムツ、アンコウ、キダイ	244トン	81%	85%	10.2トン	81%	74%	▲
小型底びき 網	大田	アカガレイ、ソウハチ	233トン	135%	93%	932kg	125%	133%	◎
定置網 (大型)	出雲	サワラ類、スズキ、ブリ	103トン	66%	79%	12.9トン	58%	69%	▲
	石見	サバ類、スズキ、サワラ類	21トン	37%	109%	7.0トン	37%	94%	○
	隠岐	ウルメイワシ、マアジ、スルメイカ	14.3トン	79%	17%	7.1トン	118%	17%	▲
釣り・縄	出雲	ブリ、サワラ類	67トン	133%	93%	79kg	147%	151%	◎
	石見	サワラ類、ブリ	17トン	112%	53%	24kg	91%	76%	▲
	隠岐	ブリ、メダイ、カサゴ・メバル類	10トン	104%	74%	27kg	97%	89%	○

平年比：過去 5 年（沖底のみ 10 年）の平均値との比較 漁模様（CPUE）：◎が平年以上、○が平年並み、▲が平年以下  
 大型定置網漁業は 1 統当り漁獲量です。